



社会福祉法人 坂井輪会

グループホーム穂波の里

昭和の雰囲気があるアットホームなグループホームです。

皆様の出来ることや得意なことが発揮できる環境がここにはあります。

不安なことは職員がしっかり支援します。お互い支え合い、楽しく生活しましょう



普通の玄関です。
普通過ぎてわかり
ずらいですが…💧



リビングです。
交流盛んでとても
賑やかです。



食堂です。
一家団欒の場
です。
思い思いに過
しています。



台所です。
昔取った杵柄を発揮し
ていま～す。
「ところで今日のお昼
何にしようか？」😊



調理しながら、何やら
井戸端会議中
何話しているのかな～
(;▽;)



野菜作りも行っていま
す。得意なことを
発揮中！！
「ほら一立派なキュウ
リなこと」🥒



広々としたお部屋。クローゼット含め、約 8.5 畳分。タンスやテレビ、ソファも置けます。天袋もありますので収納たっぷりです。
洗面台はありますが、トイレは共同です。



入居の皆様のご要望で
ウォッシュレットが
付きました



肩まで入れる湯量たっぷりのお風呂
です。時間を気にすることなくゆっく
り入れます。浴槽の淵には 2 か所の
手すり、浴槽の中も手すりが設置して
あり、安心して頂けます。



行事や外出、散歩など四季折々に触れ
生活を楽しんでいます。



～特色～

入居者主体の生活。その方らしい生活。お互い協力し合いながら送る生活为目标に環境作りを意識して支援を行っています。

グループホーム穂波の里では3食入居の皆さんで作っています。毎食、献立は決まっていません。その都度、食べたいものだったり、冷蔵庫の中の野菜、肉、魚を見て何を作って食べるか決めています。それぞれ出来ること、得意なことが発揮できるよう職員は見守り、お声を掛けさせて頂いています。食材は入居の皆様と職員で買い物に行き、献立を考える時、何を選んでもいいように豊富に食材を揃えるようにしています。

入居者の会を月1回開催しています。毎回始まる前に自分の名前を言って頂き、一言あれば伝えもらい、ウォーミングアップをしてから始めています。何でも話しています。その時思ったことを話したり集団生活に対して要望だったり意見だったり。行事等も入居者の会で決めています。行きたいところや、やってみたいこと、食べたいものなど意見がたくさん出されます。司会進行の職員も皆さんが話しやすい雰囲気を作るように心がけています。

～支援の基本姿勢～

「主体的な生活を送る」とは？ グループホーム穂波の里では入居の皆様が送る生活は大きなことから小さなことまで選択の連続です。選択の積み重ねが自分の生活は自分で作ることに繋がっていると感じています。その為には選択ができる環境が必要です。職員は先に言葉を出さず、ひたすら待ちます。行動も同じです。早く決めて行動できる方とゆっくり慎重に考え行動する方、その方に合わせて待ちます。

「うちのお母さん何年も調理なんてやったことがない」と心配されるご家族様がほとんどです。でも、ほとんどの方が入居されたその日から包丁を握って調理をされています。集団の力ってすごいです。みんながやっているからやる。はじめはそれでいいと思います。もちろん、食事の作業は調理だけではありません。盛り付けや配膳、テーブルセッティングとその方のできることに合わせて職員が支援しています。

集団の他に個人で行う洗濯等、リネン交換、掃除は職員と一緒にいきます。施設見学でご家族様に説明すると「やーできるかな？洗濯機なんて使えないと思う」とご心配されますが、都度、職員が付いて支援するのでご心配いりません。

来園者からよく言われる言葉があります。「ザ、グループホームって感じだね」と言われるグループホーム穂波の里です。